

関西業務ニュース

2013年12月24日No.236

JR東海労働組合新幹線西地方本部

発行 小林 國博 編集 業務部

12月24日業務委員会を開催。

「平成26年3月新幹線ダイヤ改正について」 会社提案を受ける。

《若干のやりとり》

協議前にマスコミ発表は労働組合軽視だ！

組合：毎年のものであるが、一般向けにはダイヤ改正のプレス発表を12月20日に行っているが、なぜ内部の労働組合より先に公表しているのか。強く抗議する。

会社：当然、プレス発表のタイミングと業務委員会の日程を出来るだけ同時に出来るように調整しながらやっている。

組合：プレス発表は今日の業務委員会が終わってからでも十分である。

会社：今回は連休を挟んで、会社のスケジュール調整で今日になった。

組合：世間に公表するのは今日でも何ら問題ない。

会社：同タイミング、同時期にやっている。

「のぞみ10本ダイヤ」での最大限の運転本数は！？

組合：季節臨もあわせて一日の運転本数は323本の設定だが、今回のダイヤ改で「のぞみ10本ダイヤ」の設定を下り14、上り13、計27もの時間帯で増発可能になった。これ以外に臨設定はないのか。

会社：基本的には設定された筋である。しかし可能性はゼロではない。

組合：出来るようになった理由は新大阪27番線と引上げ1番2番の増設なのか。

会社：それもあるが、N700・N700Aを700系の代わりに導入することによって時間短縮が可能になった。

組合：3月15日以降、運転可能な本数は何本になるのか。

会社：お客様のニーズや動向を見ながらの状況になる。

組合：今夏、上下線合わせて410本を運転した。これが最大であったがこの本数を遙かに超えるのではないのか。具体的な資料は今日はないのか。

会社：最大輸送力は多くなっている。今は資料はない。

乗務員の必要な要員は確保されているのか？

- 組合：ダイヤ改正以降乗務員の必要な要員は確保されているのか。今でも休日出勤で補っているが、かなり要員が必要ではないのか。
- 会社：必要な要員の考え方はこれまでと変わらない。必要な要員は確保している。
- 組合：ゴールデンウィーク・お盆・正月等のピーク時に要員が最大限必要と考えるが、設定可能な運転本数に見合った要員体制になっているのかである。
- 会社：26年3月ダイヤ改正の提案と来年の運転本数は明らかにしていない。これまでのダイヤ改正でも要員に対する列車を設定できるダイヤとした。
- 組合：今までの臨時設定は下りの一部時間帯であり、これに比べてかなり要員差がある。それに見合う要員を確保しているのか不安である。
- 会社：採用や要請を現段階でもやっている。効率的な行路作成も行っていく。
- 組合：現場の社員に負担が掛からないようにすること。話は変わるが申し入れ27号での車販は今でも要員が足りないようであるが、大丈夫か。
- 会社：JRCPのことなので言えない。

休日出勤のスタンスに変わりはない！？

- 組合：来年度も休日出勤の解消に向けたスタンスに変わりはないのか。
- 会社：従前の通りである。解消に向けて頑張っている。
- 組合：引上げ線について、乗務員の要員の変更はないのか。
- 会社：乗務員の要員については、2月に提示する。
- 組合：ひとつの考え方としてないのか。
- 会社：われわれも分からない状況である。
- 組合：鳥飼基地に入るのが減り、短縮されてはいないか。
- 会社：鳥飼、引上げ含めて分からない。
- 組合：交番については昨年も申し入れているが、今回はかなり本線の乗務効率があがるのではないか。
- 会社：どこに振られるか分からない。

引上げ線の乗務員の教育スケジュールは？

- 組合：引上げ線は来月工事が終わり3月15日より運用となっているが、庫の作りは3番線・4番線と同じなのか。
- 会社：同じと考えている。
- 組合：乗務員の教育スケジュールはどうなっているのか。
- 会社：基本的には3番線・4番線と同様の教育と考えている。
- 組合：線見とか考えているのか。
- 会社：前に行った教育と同様と考えている。
- 組合：現場の社員の声を聞くこと。

新大阪引上線路増設に伴う要員体制の見直しについて

組合：変形7形は夜勤なのか。

会社：8時50分から20時20分である。イメージは昼間から夕方作業で、10時間30分の労働時間である。

組合：どこから持ってくるのか。

会社：ちゃんと配備する。

組合：希望する社員がいたら、希望を聞くこと。

会社：申告、列防扱いに適正が必要であり制約がある。

自販機の廃止はなぜか？

組合：今回の提案ではなかったが、会社のホームページによると自販機が廃止されると発表している。車内サービスの低下につながるのか。

会社：環境の変化である。車内や駅以外で買っている人が増えている。但し、緊急用は車内に積んでいる。

組合：すでに用意されているのか。どこに積むのか。

会社：9号車の業務用室に積んでいる。21日から4編成で始まっている。

組合：一部の新生車両とは。

会社：G11編成からG13編成と、西日本会社のF1編成の4編成である。他の車両は3月15日以降使用停止等を行う。

組合：こだまなどを利用するお客様は車内で飲料水を手に入れる方法がない。会社としてどう考えているのか。

会社：お客様には放送等で事前に案内する。

組合：年1回～2回しか乗らないお客様は基本的には知らないのではないのか。

会社：一日運用した編成で10本程度の販売と実績が少ない。トータル的に今の時代に合わせていく。

組合：一般的には車内サービスの低下であり、お客様にご不便をかけないようにすること。

引上げ線の運転時分に変更はあるのか？

組合：引上げ線の運転時分に変更はあるのか。

会社：今の段階では分からない。

組合：折り返し20分は変わらないのか。

会社：業務量については詰めている。

組合：縮まることはないのか。

会社：大きくは変わらないが、検討中である。

※別紙 会社提案資料6枚添付

以上